

私は千葉県柏市で生活安全産業の一翼を担うべく、警備会社を展開する会社経営者です。ぜひ、新卒高校生の方々に当社の門をたたいて頂きたく、先生方、学校関係者の皆様に日頃から、経営者として思うこと、感じていることを綴ります。文化・芸能・教育・社会・経済・企業の問題を一緒に考えていきたいです。当紙の題名は私の人生訓であり、モットーでもあります。

学校教育と民間企業の底力

2015年のノーベル物理学賞に東京大学宇宙線研究所所長の梶田隆章氏が選ばれた時のことです。日本人受賞者が増えることは真に喜ばしい限りですが、最近の日本人ノーベル物理学賞受賞者については一個人にその研究成果と功績を凝縮させることには少々疑問を感じてしまうのです。

梶田氏は素粒子ニュートリノに質量があることを発見したことを評価されての栄誉となったわけですが、そこに至るには建設費約100億円をかけ1996年に完成した岐阜県飛騨市神岡町の地下1000メートルの鉱山跡に建設されたニュートリノ観測施設「スーパーカミオカンデ」があればこそとも言われています。

研究者の学識もさることながら、この実験施設建設にたずさわった現場関係者の仕事ぶりや、それを可能にした民間企業の土木建設技術、さらには世界で最高レベルの実験機器・器具を揃えることのできる国家でなければこうした成果は得られなかったはずです。

ノーベル賞受賞者を数多く輩出する国は、優れた民間企業を数多く抱える国でもあります。優れた企業は、質の高い教育が提供され、学習と経験の繰り返しの中で思考力・判断力・表現力を身に付けた人材が豊富に供給される国にこそ立ち上がるものです。

私たちはそのような社会環境を備えた国に生まれ育ってきたことを感謝しなくてはなりません。毎年10月に日本人ノーベル賞受賞者が誕生する背景には、優れた教育水準と民間企業の底力が少なからずあることに気づく必要があるでしょう。



当社では毎年、たくさん的高卒生を迎え入れております。一人でも多くの若い力を大切に育て上げたい。社会の発展に貢献できる人材に成長させることを私がお約束します。会社を通して彼らの人生形成の役に立ちたいと存じます。

ぜひ大切な生徒様の進路検討に私の会社を加えて下さい。本日は、御精読ありがとうございました。

 松本 隆一郎